

2005年4月19日

社会貢献事業「海洋生物研究プロジェクト」開始の件

～ サンゴ礁の健全性保持と回復技術の確立・普及への取り組み～

三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区、社長:小島順彦)は、本年度より、日本・米州・欧州アフリカの3地域で、サンゴ礁の健全性保持と回復技術の確立・普及を目指した環境保全型の社会貢献事業「海洋生物研究プロジェクト」を開始致します。

2004年度は、第二次大戦後の大合同による新生三菱商事の誕生から、50周年にあたります。本プロジェクトは、三菱商事の50周年記念事業として実施するもので、研究と同時に、当社の社員をはじめとする一般の皆様からボランティアを募り、研究活動への参加を通じて、環境問題についてご理解を深めて頂くためのプログラムも実施致します。年間予算は3,000万円、プロジェクト期間は6年間を予定しており、6年後にプロジェクトの状況と成果をレビューした上で、プロジェクトの更なる継続について検討を行う計画です。

「海の熱帯林」と呼ばれる「サンゴ礁」は、全海洋動物50万種のうち、4分の1が生息するという概算もあるほど、多種多様な生物の宝庫です。しかしながら、環境変動、人間活動およびサンゴの白化などにより、毎年全世界でサンゴ礁が消失しています。1998年のエルニーニョに伴う高水温と、それによる白化により、全世界で、東京都の約35倍に当たる約7.7万km²のサンゴが失われました。サンゴ礁は、その生物多様性や、海洋汚染・地球温暖化などに対する応答の速さという点で、地球規模・地域規模の人間活動と環境変動の影響を迅速に反映する場所であり、サンゴ礁の健全性を保持・回復させる技術を確立し、普及させていくことは、周辺に共生している様々な生物を含めた海洋環境全体の保全に大いに貢献ができると考えています。

本プロジェクトは、昨今のサンゴ礁衰退の最大の問題の一つと言われている「サンゴの白化現象(*)」を科学的見地から研究し、サンゴの白化防止及び回復技術を確立することを目標としています。白化現象は、世界各地のサンゴ礁で発生し、大きな被害を与えています。しかし、そのメカニズムは完全に明らかになっておらず、根本的な防止策が確立していないのが現状です。本プロジェクトの研究成果は、広く世界各地で活用して頂ける様、日本サンゴ礁学会、国際サンゴ礁学会、雑誌などで発表すると同時に、セミナーの開催などを通じて、定期的に公表していく計画です。

* サンゴの白化現象

サンゴが色あせて白っぽくなる現象。インド洋や紅海、カリブ海など世界40カ所のサンゴ礁で多発しており、日本でも、沖縄や鹿児島を中心に昨年から広がっています。

サンゴの生息に適した水温は25～29℃。サンゴの体内には、褐虫藻という直径0.01mmほどの単細胞の藻類が棲んで光合成を行っていますが、海水温が2℃高くなるだけで、この褐虫藻がサンゴから出てしまっただけで色が抜け、そのまま褐虫藻が戻らないと、サンゴは死んでしまいます。今後、温暖化の影響で海水温の上昇が続くと、熱帯地方のサンゴが危機にさらされる可能性がさらに大きくなっていくと言われています。

今般、3地域の第一弾として、日本で行うプロジェクトの概要が下記の通り確定致しました。米州・欧州・アフリカで行うプロジェクトの内容は、現在検討中ですが、3地域の研究成果は、相互に活用していく予定です。

<日本プロジェクトの概要>

(1) プロジェクト・パートナー
国立大学法人静岡大学

(2) プロジェクト・リーダー
国立大学法人静岡大学 鈴木 款(すずき よしみ)教授

(3) 調査地
沖縄県国頭郡本部町 / 琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底実験所

(4) ボランティア派遣協力
特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパン

(5) 研究開始スケジュール
2005年8月予定

(6) 研究内容
白化が発生しているサンゴの周辺に生息する海草・光合成細菌・プランクトンなどの数量・餌の種類/量・光合成/呼吸量データの収集、並びに化学的調査研究手法による炭素・窒素・リン・微量元素・タンパク質などの取込量・構成比などの確認を行う。これらのデータをもとに、白化現象の要因などのメカニズムを解明する。
更に、白化が回復しているサンゴや、周辺に比べて白化が少ないサンゴにおいても、同様の研究手法にて、回復過程、或いは白化が起こりにくい原因などを解明し、白化防止技術の提言並びに科学的根拠の把握を行う。

< 参考事項 >

(1)静岡大学 / 鈴木教授 略歴

静岡大学 理学部 生物地球環境学科 地球生物圏進化学
鈴木 款(すずき よしみ) 教授

<略歴>

1972. 3	静岡大学工学部卒業
1972. 4-1974.9	財団法人日本分析化学研究所・研究員
1974.10-1986.3	気象庁気象研究所研究官【1981.7 理学博士(名古屋大学)】
1986. 4-1993.3	同上・主任研究官
1993.4-	現職

<公的活動>

国際サンゴ礁学会評議員、日本サンゴ礁学会評議員、第 10 回国際サンゴ礁シンポジウム科学プログラム委員会委員長。

(2)特定非営利活動法人 アースウォッチ・ジャパンの概要

Earthwatch Institute(President and CEO: Roger V.D. Bergen, Chief Science Officer: Dr. Marie Studer)は、1971 年、米国・ボストンにて設立された環境 NGO。

世界各地で行われる一流の研究者による野外調査に、一般市民を、ボランティアとして派遣する活動を行う。米国・英国・豪州・日本に拠点。

アースウォッチ・ジャパン(理事長 難波 菊次郎)は、1993 年に設立され、2003 年に NPO 法人認証を取得。

以上